

■ドイツ・スロバキア：ドイツとスロバキアが脱石炭連合に加盟

2030年までの石炭火力停止を訴えるPPCA（Powering Past Coal Alliance）は2019年9月22日、ドイツとスロバキアが加盟したことを明らかにした。9月23日に開催された国連気候行動サミットにあわせて両国がPPCAへの加盟を発表したことから、PPCAが新たなメンバーに関する情報更新を行ったもの。PPCAは2017年のCOP23で英国とカナダの呼びかけで結成され、先進国に対しては2030年までに石炭火力発電を停止することを求めている。各国政府以外にも米国の州政府を含む自治体や民間企業が参加している。ドイツは2019年1月に2038年（早ければ2035年）までに石炭火力を停止することを決定しており、気候行動サミットの開催を機に参加を決定した。一方、スロバキアのPPCA加盟は中東欧諸国としては初めてである。今回のPPCAの発表によると新たな加入によりメンバー数は、32政府、25自治体（新たにニュージャージー州、プエルトリコ自治連邦区が加入）、34企業（2つの金融機関が加入）となる。